

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 中学校体育連盟助成金
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	1	子どもたちの生きる力を育む
小分類	3	たくましく生きるための健康や体力づくり
主要な施策	4	指導者・指導技術の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 52134001 事業開始年度 昭和 5 7 年度 事業終了年度 平成 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	中学校体育連盟助成金
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 登別市中学校体育連盟
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 生徒の健康増進や生徒間交流を図るため、各種大会を主催する中学校体育連盟に助成金を交付する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 中学校生徒の体育振興を通じて、仲間と友情の輪を広げる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	クラブ活動数(各校累計)	種類	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	45	/	/	/	/
	クラブ活動加入者数	人	目標値	1,037	956	956	956	956
			実績値	956	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単 位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,460	1,460	1,400	1,400	1,400	4,200
合 計				1,460	1,460	1,400	1,400	1,400	4,200
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	69			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	69			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 中学校体育連盟が主催する体育大会等は、中学校生徒の部活動等における目標となるものであり、体育振興、健康増進、生徒間交流などに果たす役割は大きく、その活動を支援するため助成金の交付は妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 各種体育大会を実施することにより、生徒の部活動への意欲を高め、スポーツ振興及び他校の生徒との親睦・交流を深めている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 学校間での練習試合等、生徒間交流を更に促進できるよう検討する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 削減により、各種体育大会の実施・参加及び体育振興等を推進する環境の維持が難しくなることから、現状維持が妥当である。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	スポーツを通じて、中学校生徒の体育振興、健康増進、親睦を深める本事業は継続が必要である。 本事業を継続することで、各種体育大会の実施と生徒が参加できる環境が保障される。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）